

2026 年 1 月 15 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号  
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス  
代 表 者 名 代表取締役 社長 岡 田 淳  
(コード番号：7777)  
問 合 せ 先 取 締 役 茂 木 龍 平  
電 話 番 号 03 (3511)3440

## 甲状腺切離後の滲出性出血に対するピュアスタットの効果を評価する 医師主導特定臨床研究開始のお知らせ

株式会社スリー・ディー・マトリックス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田淳、以下「当社」）は、自己組織化ペプチド技術を用いた吸収性局所止血材「ピュアスタット」について、静岡県立静岡がんセンターにおいて、甲状腺切離後の滲出性出血に対する止血材としての評価を目的とした医師主導の特定臨床研究※<sup>1</sup>が開始されたことをお知らせします。

本研究は、甲状腺切離後に既存の止血法では十分な止血が得られない滲出性出血を対象に、ピュアスタットを使用し、その有効性及び安全性を評価する探索的な臨床研究です。

甲状腺は強固な靱帯により気管に結合しており、甲状腺切除術では靱帯周囲からの滲出性出血が比較的高頻度に認められます。術後出血は重篤な合併症につながる可能性があり、また甲状腺の裏面には反回神経が走行していることから、神経損傷による声帯運動機能低下を回避しつつ出血を制御することが臨床上の課題となっています。さらに、術後出血はドレーン留置期間の延長を招き、患者 QOL の低下につながります。現在は焼灼やガーゼ圧迫などが行われていますが、より安全かつ効率的な止血材が求められています。本研究では、止血有効性に加え、術後の声帯運動機能低下の発生割合やドレーン留置期間などについても評価します。

当社では、ピュアスタットの甲状腺切離後における臨床的有用性について検討してまいります。

なお、本件による通期の業績および中期経営計画への影響はございません。

以上

※1：特定臨床研究とは、医薬品や医療機器の有効性または安全性を明らかにすることを目的としてヒトを対象に行われる臨床研究のうち、企業などから資金提供を受けて実施されるもの、または未承認・適応外の医薬品等を使用するものを指します。これは、臨床研究法に基づき、研究の信頼性や倫理性を確保するために、特に厳格な手続きと管理が求められる研究です。